

こんにちは 子育て相談窓口です

問合せ 子育て相談窓口 ☎0495-74-0205 FAX 0495-77-2117

感染症対策をして、冬も元気いっぱい

寒く乾燥する冬は、ウイルスが活発になり感染症が流行しやすくなる季節です。冬の感染症の特徴としては呼吸器に症状が出やすいものが多いです。さらに冬から春先には、ロタウイルスやノロウイルスによる感染性胃腸炎も流行します。十分に注意し、冬を元気に乗り切りましょう。

なぜ冬に感染症が流行するの？

気温15度以下、湿度40%以下の低温度・低湿度ではウイルスが空中に浮遊しやすくなります。さらに寒い
ため換気の回数も減ってしまい感染しやすい環境になります。

また、寒くなると人間の体温も下がり、免疫力も下がります。冬は寒さによって水分補給の回数も減るため、
体内の水分不足につながることも感染しやすい原因です。空気が乾燥しているため、鼻やのどの粘膜も乾燥
し、感染を防御する機能も弱くなります。

6つの感染症の予防対策

- ①栄養バランスのとれた食事、睡眠など規則正しい生活を送る
- ②手洗い・うがい・手指消毒(小さなお子さんは周りの大人が心がけましょう)
- ③部屋の換気
- ④人混みを避ける
- ⑤加湿する
- ⑥こまめな水分補給



冬の服装のコツについて

つい多めに着込みがちですが、子どもは体温が高く、汗もかきやすいため大人より1枚少ない服装を心掛けましょう。小さい子は背中にふれて汗をかいていないかマメにチェックしましょう。

- 肌着を着て身体を冷やさないことが大切です。
- 厚手の服を1枚着るより、素材の異なる薄手の服を2枚重ねる方が空気の層が出来温かくなります。

冬場に多い おう吐や下痢

感染性胃腸炎に感染すると、おう吐と水のようなひどい下痢が起こります。そのことにより体内の水分が失われ、脱水症状になると危険です。何よりもまず水分補給を心掛け、安静にして過ごしましょう。

★ケアの仕方

イオン飲料水や湯冷ましを少しずつ、こまめに与えましょう。

おしりはこすらず、お湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取りましょう。

★下痢の時のおすすめの食事

リンゴのすりおろし、おかゆ、おじや、柔らかく煮た野菜スープ等



神川町母子愛育会からのお知らせ

○結核予防等推進募金額 令和5年度 16,866円

令和5年10月22日(日)コスモまつり会場にて結核予防等推進のための啓発と募金活動を実施しました。皆様からいただいた募金は検診車購入等に使われます。ご協力いただきありがとうございました。

税理士による無料税務相談

問合せ 関東信越税理士会本庄支部 ☎0495-35-1128

各税理士事務所において原則として対面式による申告相談および申告書の作成を無料で行います。希望する方は各事務所に事前に電話連絡の上ご利用ください。(事前連絡時に相談日時を確認してください。)

対象 年収600万円以下の給与所得者で医療費控除や住宅借入金特別控除などの申告をする方
年金受給者で確定申告が必要な方

相談日時 2月1日(木)～15日(木)(日曜・祝日を除く)の午前9時30分～午後4時

日程	税理士名	電話(0495)	事務所所在地	日程	税理士名	電話(0495)	事務所所在地
2月1日(木)	菅野 幸夫	24-3602	本庄市若泉	2月8日(木)	黒澤 祥一	33-1414	上里町七本木
	小池 裕太	22-3074	本庄市		松本 悦子	24-1965	本庄市若泉
	柴崎 厚	22-0606	本庄市栄		山下 政信	72-1317	児玉町吉田林
2月2日(金)	池田 敦司	71-7901	本庄市西富田	2月9日(金)	小暮 眞一郎	33-2141	上里町勅使河原
	田中 圭二	22-3733	本庄市栗崎		多賀谷 実	21-7871	本庄市見福
	持田 修	71-5127	本庄市		宮田 昌代	33-2764	上里町七本木
2月3日(土)	小川 輝	21-0888	本庄市牧西	2月10日(土)	松本 和弘	33-0315	上里町三町
	塚本 雅俊	71-4910	上里町七本木		松本 純一	33-0315	上里町三町
	根岸 精一	21-2235	本庄市五十子		三澤 力男	25-7988	本庄市朝日町
2月5日(月)	入 敏明	71-7792	本庄市千代田	2月13日(火)	藤井 桂一	21-3625	本庄市見福
	岩堀 薫	21-1678	本庄市朝日町		真々田 豊	71-4529	本庄市東台
	田村 幸一	71-7808	本庄市下野堂	2月14日(水)	青木 貴子	22-3491	本庄市南
2月6日(火)	打越 祐次	21-2800	本庄市朝日町	須永 秀和	22-4867	本庄市前原	
	松木 正則	34-0307	上里町七本木	2月15日(木)	木村 睦子	23-1120	本庄市けや木
2月7日(水)	三沢 俊之	21-2800	本庄市朝日町	田村 修	24-5533	本庄市	
	鴨田 宏生	37-4155	本庄市早稲田の杜				
	塚本 富雄	76-0684	美里町下児玉				
	目時 悟	33-8859	上里町金久保				

くらしの110番「電気ストーブの使用による火災に注意」

問合せ 経済観光課 商工観光担当 ☎0495-77-0703 FAX0495-77-3915

冬になると多くの家庭でストーブが活躍しますが、使用には注意が必要です。消防庁の集計による令和3年中の発火源別死者数の内訳では、たばこに次いでストーブが2位となっています。実際に裸火を扱う灯油ストーブだけでなく、電気ストーブ類も誤った使用方法により火災を引き起こす可能性があります。

【事例1】 セラミックヒーターを延長コードにつないで使用していた。延長コードへの差込口が熱で溶け発火した跡があった。

【事例2】 古いオイルヒーターのスイッチを入れたまま外出し、帰宅後に黒煙が出ていることに気付いた。本体一部が溶け、床は焦げていた。

消費者へのアドバイス

- ①正しい使用方法と安全対策を知る：製品の取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。
- ②設置場所に注意する：ストーブは平らで安定した場所に設置し、周囲に布団やカーテンなどの可燃物がないことを確認してください。
- ③延長コードは使わない：多くの電気ストーブは危険性があるため延長コードの使用が禁止されています。延長コードは使用せず直接コンセントに差し込み使用しましょう。
- ④こまめに電源を切る：外出時や部屋から離れる場合は必ず電源を切りましょう。
- ⑤定期的な点検と清掃：取扱説明書をよく読み、定期的に点検と清掃をしましょう。

▼困った時には、お近くの消費生活センター等にご相談ください。

消費者ホットライン ☎188 (いやや) 埼玉県消費生活支援センター熊谷 ☎048-524-0999